| 学校番号 | 111 |
|---|---|

# 平成 31 年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ３ | 年次 | ３ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代文Ｂ」　（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 改訂増補　最新国語便覧（浜島書店）よくわかる現代文　ステージ３（京都書房）<br>読解現代文必携　キーワードの卵（尚文書店） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ

・１年および２年次に培った国語力をさらに向上させ、自分の目指す進路を実現させよう。
・「評論」の学習では、評論文独特の表現に慣れましょう。そして論理の展開を理解し、筆者が主張したいことをまとめられるようにしましょう。
・「小説」の学習では、書かれている文章から登場人物がどんなことを考えているのか、どんな気持ちでいるのかということを読み取る努力をして下さい。
・週に１回の小テストに備え、しっかりと勉強し、自分が使いこなせる語彙力を高めましょう。
・授業中は、しっかりとノートをとり、授業後、内容を振り返ることができるようにしましょう。
・提出物の期限は必ず守りましょう。
・定期考査は学習計画・目標を立てて臨みましょう。

## 2　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。
・近代以降の様々な文章を読むことで、ものの見方、感じ方、考え方を深める。
・進んで表現し読書することによって国語の向上を図り、人生を豊かにする態度を育てる。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 | 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（ノート、ワークシート等） | 行動の観察<br>（発表等のパフォーマンスの評価） | 記述の確認及び分析<br>（ワークシート、原稿用紙） | 記述の確認及び分析（ワークシート）<br>定期考査 | 行動の観察<br>記述の確認<br>（ノート、ワークシート等）<br>定期考査<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 評論（一） | 教材：<br>「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」 | ○ | ○ | | ◎ | ○ | a 筆者の「ノブレス・オブリージュ」を自分にひきつけて考えようとしている。<br>b 筆者の主張を性格に読み取り、そのことについて話し合いを行っている。<br>d 筆者のいう「贈り物」の意味を性格に理解している。<br>「ノブレス・オブリージュ」の一般的な意味と本文での意味の違いを理解している。<br>e 語彙を増やし、本文中の語を用いた熟語を書くことができる。<br>語句の意味や用法を理解している。 | a、b、d、e：行動の観察及び記述の点検 |
| | 評論（二） | 教材：<br>「こころは見える？」 | ○ | | | ◎ | ○ | a「こころ」のあり方について、自分の考えと引き比べながら、読み進めようとしている。<br>d 文章の構成を理解し、内容の概要を把握している。<br>筆者が考える「こころ」のあり方について、的確に理解している。<br>e 語句の意味や用法を理解しているか。<br>「文楽」や「歌舞伎」に関して大まかな知識がある。 | a、d、e：行動の観察及び記述の点検 |
| | 小説（一） | 教材：<br>「赤い繭」 | ○ | | | ◎ | ○ | a 小説を読むことを楽しみ、作品の内容について自分の考えを深めようとしている。<br>d 場面の展開に即して、主人公の心の移り変わりをとらえている。<br>e 作者についての知識をもっている。<br>語句の意味や用法を理解している。 | a、d、e：行動の観察及び記述の点検 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 評論（三） | 教材：<br>「である」ことと「する」こと | ○ | | | ◎ | ○ | a 論理の展開のしかたや論旨をとらえ、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。<br>d 段落ごとの要旨を把握し、全体の構成を理解している。<br>「である」と「する」の対比をとらえ、それぞれの具体例として何があがっているかを理解している。<br>e 封建社会のあり方や、近代化による社会の変容について、大まかな知識をもっている。<br>語句の意味や用法を理解している。 | a、d、e：行動の観察及び記述の点検 |
| | 小説（一） | 教材<br>「檸檬」 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a 登場人物の心の移り変わりを読み取り、小説を読み深めるおもしろさを味わっている。<br>c 作品を読んで考えたことを、わかりやすく文章にまとめている。<br>d 檸檬を手に入れたことで「私」の気持ちがどのように変化したかをとらえている。<br>丸善に檸檬を置いてきた「私」の意図と、その後の「私」の気持ちを想像している。<br>e 語句の意味や用法を理解している。<br>作者についての知識をもっている。 | a、c、d、e：行動の観察及び記述の点検 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 評論（四） | 教材<br>「猫は後悔するか」 | ○ | | ○ | ◎ | ○ | a 文章の論理的な展開をたどりながら読み進めようとしている。<br>c 本文を読んで考えたことをふまえ、言葉と世界の成り立ちについて、わかりやすく文章にまとめている。<br>d「論理空間」「分節化」の意味について理解している。<br>「猫」が「後悔しない」理由について、的確に読み取っている。<br>e 語句の意味や用法を理解している。<br>ウィトゲンシュタインについて、大まかな知識がある。 | a、c、d、e：行動の観察及び記述の点検 |
| 3学期 | 小説（二） | 教材<br>「舞姫」 | ○ | | | ◎ | ○ | a 文語体の作品に興味を持って取り組み、文章のリズムや響きを味わいながら鑑賞しようとしている。<br>登場人物の心情の変化を場面の展開に即して読み取ることを通じて、小説を読む醍醐味を感じ取ろうとしている。<br>d 留学してからエリスに出会うまでの主人公の心の変化を読み取っている。<br>エリスに出会ってからの主人公の心境の変化・境遇の変化を読み取っている。<br>相沢謙吉との再会による主人公の気持ちの変化を読み取っている。<br>ドイツを去るにあたっての主人公の内面を想像している。<br>e 語句の意味や用法を理解している。<br>作者の伝記的事実について大まかな知識をもっている。<br>なじみのない漢語などの意味を、注や辞書を手がかりにして理解している。 | a、d、e：行動の観察及び記述の点検 |

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。